

ホームページ掲載文書

腸骨筋膜下ブロック施行後の神経遮断領域の検討

①対象 整形外科で股関節の手術を受けられる患者さん

②研究機関名 済生会中津病院 麻酔科

③背景 当院で股関節の手術を受けられる患者さんには、術後の疼痛軽減目的に神経ブロック（腸骨筋膜下ブロック）を施行しています。

手術後に大腿神経・外側大腿皮神経・閉鎖神経領域の感覚低下（神経ブロックが効いている）を評価することで、術中・術後の鎮痛薬の量を減少できると考えられます。

④方法 診療録よりデータを収集します。収集項目は、年齢、性別、身長、体重、病名、術式、超音波画像、使用局所麻酔薬の種類と量、局所麻酔薬以外の使用鎮痛薬の種類と量、痛みの評価、神経ブロックの効果範囲、などです。

⑤意義 腸骨筋膜下ブロックを施行することで、術後の疼痛を軽減することを目的としています。また、神経ブロックの効果範囲を評価することで、術中・術後の鎮痛薬の量を減少できると考えられます。

⑥個人情報の取扱い

個人情報および検査データはすべて匿名化し、個人を特定できる情報の流出がないよう、細心の注意を払います。

この調査は、当院の臨床研究倫理審査委員会の承認を得て行っており、結果は学会や学術誌に報告する予定です。ご自身のデータ使用を希望されない場合は、下記までご連絡をいただければ不同意表明書に署名頂きデータ使用がなされないように対応いたします。その場合においても患者さんが診療上不利益を被ることはありません。

⑦問い合わせおよびデータ使用を希望されない場合の連絡先

済生会中津病院麻酔科 古曾部 和彦

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目10番39号 06-6372-0333